

製品説明書
916-288 NY抗菌CMクリヤーSVC
塗料タイプ

2液反応型ポリウレタン樹脂塗料

特徴

耐候性に優れたアクリルポリオールを主バインダーとし、無黄変型の脂肪族系イソシアネートを組み合わせた、2液反応型ポリウレタン樹脂塗料をベースとした抗菌性塗料です。

耐久性に優れた銀系無機抗菌剤を組み込む事で、抗菌性能を発揮いたします。

対応硬化剤

D08-269 / D08-569

推奨シンナー

FBシンナーシリーズ

販売容量

主剤	4kg	シンナー	4L / 16L
硬化剤	1kg		

塗装仕様

配合比	主剤[P]	4	常温乾燥 (20°C)	指触乾燥	15分
	硬化剤[D]	1		指圧乾燥	4時間
	シンナー[T]	1.5~2.5		硬化乾燥	5~7日
可使時間(20°C)		5時間	強制乾燥	80°C	40分
標準塗布量	80~100g/m ² (ドライ20~25μm)			120°C	20分

表示

消防法区分	第四類第一石油類
危険等級	II
有機溶剤区分	第二種有機溶剤
その他	詳細は最新のSDSをご参照ください

注意事項

- ・主剤と硬化剤の配合比は厳守してください。
- ・2液配合後は良く攪拌してください。
- ・シンナーは本製品に対して適性のあるものをご使用ください。
- ・配合した材料は、可使時間以内に使い切ってください。

※夏季は硬化が早くなるので注意してください。

- ・標準塗布量の範囲で、タレ・塗り残し・スケのないよう均一に塗装してください。
- ・標準塗布量以上の厚塗りは避けてください。ピンホール・発泡の原因になります。
- ・気温5°C以下、湿度85%以上、表面結露の見られる場合は、塗装を避けてください。
- ・容器に記載した警告および注意事項を厳守してください。
- ・その他注意事項についてはSDSをご参照ください。

塗膜性能

	条件
素材	ブリキ板
乾燥条件	80°C×30分 強制乾燥 → 室温(20°C)にて72hr放置

試験項目	試験結果	試験方法
1 外観	異常なし	ピンホール、シワ、タレ等の異常のない事
2 密着性	100/100	1mm間隔 セロテープ剥離残数
3 鉛筆硬度	H	三菱ユニ(80°C×30分乾燥→72hr放置後)
4 耐摩耗性	1000回異常なし	学振式(荷重0.5kg ストローク100mm)
5 耐酸性	異常なし	0.1N-H ₂ SO ₄ 0.2ml スポット/20°C×24hr
6 耐アルカリ性	異常なし	0.1N-NaOH 0.2ml スポット/20°C×24hr
7 耐ガソリン性	異常なし	ガソリン浸漬 30分(クロスカット入り)
8 耐溶剤性	異常なし	ベンジン:トルエン=9:1 浸漬1hr →2hr放置後外観
9 耐アルコール性	100回以上	99.5%エタノール 1kg荷重/ガーゼ
10 耐温水性(1) 二次密着	異常なし 100/100	40°Cイオン交換水 240hr浸漬 →24hr放置後 2mm間隔セロテープ剥離
11 耐温水性(2) 二次密着	異常なし 100/100	80°Cイオン交換水 24hr浸漬 →24hr放置後 2mm間隔セロテープ剥離
12 耐湿性 二次密着	異常なし 100/100	恒温恒湿試験機 50°C/98% RH以上×240hr →24hr放置後 2mm間隔セロテープ剥離
13 耐候性	ΔE=0.5 光沢保持率 80%	サンシャインウェザーメーター 500hr曝露

塗膜性能

試験方法	JIS Z2801 ⁻²⁰¹⁰ 準拠 試験片の表面に菌液を滴下し、フィルムをかぶせて菌液を密着させ、35±1°C、相対湿度90%以上で24±1時間培養する。その後、菌液を洗い出し、試験片の1cm ² 当たりの生菌数を測定。
供試菌株	①黄色ぶどう球菌 ②大腸菌
抗菌効果の判定	得られた抗菌活性値が、2.0以上の場合、抗菌効果があると定義されている。 抗菌活性値は以下の式で算出する。 抗菌活性値(R) = Ut - At Ut : 無加工試験片の培養後の生菌数の対数値 At : 抗菌加工試験片の培養後の生菌数の対数値

結果	条件	黄色ぶどう球菌		大腸菌	
		(植菌数の対数値 : 4.21)		(植菌数の対数値 : 4.08)	
		培養後生菌数の対数値	抗菌活性値	培養後生菌数の対数値	抗菌活性値
	対照区菌数 Ut	4.8	-	6.07	-
	916-288 At	<-2.0	5	<-2.0	6.2

※弊社での試験結果であり最終製品に対する性能を保証するものではありません。